

令和8年度 不祥事防止対策に係る計画

東広島市立松賀中学校

1 学校教育目標

「夢や目標に向かって挑戦し、未来をたくましく生きる生徒の育成」

2 前年度の成果と課題

サービス、教育課程、会計、安全、健康、情報に関する危機管理については管理職や各主任等を中心に適切に行われた。不祥事防止対策に向けて、全教職員一人一人が、危機管理に対する強い意識をもち緊張感をもって業務にあたるよう、一層の徹底を図りたい。

3 本年度の重点目標

- ・サービス規律の厳正確保に向けた研修の充実
- ・教育課程管理、会計管理、安全管理、健康管理、情報管理の徹底

4 具体的な取組み

観点	具体的目標	具体的方策	評価
サービス管理	飲酒運転、体罰、セクシュアル・ハラスメントをはじめとした不祥事を起こさせない。	管理職は、適時、県教育委員会の資料や新聞記事など具体的な内容をもとに、サービス規律についての研修を実施する。資料をファイルに保存させ読み返せるようにする。	研修等で配布した資料の内容と周知の手だてを検討する。
教育課程管理	授業時数を確保するとともに、教育課程の適正な実施を行う。	毎月はじめに、教務主任が進捗状況を把握して、管理職に報告する。	管理職は、教務主任の状況報告から今後の対応を検討する。
会計管理	明朗な会計のための管理の徹底を行う。	管理職は会計簿等の定期的な点検を行う。	定期的に教頭と事務長が会計簿等の照合を行う。
安全管理	安全に生活できる学校にする。	毎月1回安全点検を実施し、不備な点を整備する。不審者対応の防犯訓練や安全に関する研修を行う。	管理職は、必要に応じて改善する。また、教職員が人的および物的な校内の安全について意識しているかを検討する。
健康管理	生徒が健康で元気に学校生活を送ることができるようにする。 教職員が健康に留意しながら意欲的に教育活動できるようにする。	生徒については学級担任等が毎日健康観察を行い、保健主事がまとめる。 管理職、学年主任は教職員の健康状態を職員室での様子や対話を通して把握する。	管理職は、保健主事からの生徒の健康状態についての報告を受け、必要に応じて適切な手だてを講じる。管理職は、教職員の体調等の状況に応じて校務の分担等を調整する。
情報管理	個人情報管理を徹底する。	個人情報は、原則として校外に持ち出さないことを徹底する。 持ち出す場合は、市教育委員会による個人情報管理の規定を厳守する。また、成績等個人情報に関する書類は金庫に保管する。 重要書類は金庫や鍵のかかる書庫に収納する。学年主任が中心となって職員室の机上の整理を行う。	教頭が、情報持ち出し許可簿の管理を行うとともに、情報持ち出しの状況と職員室のパソコンのデータ保存の状況を把握し、適切な管理が行われるように指導を行う。
その他	生徒の安全確保と問題行動傾向の生徒への迅速な対応を徹底する。	出欠席ボードにより出欠席、遅刻、早退の確実で迅速な把握を行う。生徒の気になる言動については生徒指導部と担任が連携し、保護者と迅速に連携する。	毎週の生徒指導部会で、状況を把握し、見直し改善を行う。

5 研修計画

前期・後期のそれぞれの研修計画を事前に立案し、実施する。